2026 年 9 月



投資・財務局からのメッセージ

9 月はトルコにとって決定的な時期となりました。強靭な経済、積極的な外交、そして投資アジェンダが、幅広い分野にわたり世界舞台で結集したためです。

第 81 回国連総会（UNGA 81）において、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領は、世界の平和、正義、そしてより包括的な国際秩序に対するトルコの長期的なコミットメントを再確認しました。大統領はまた、トルコが今年 11 月にアンタルヤで COP31 を主催することを発表しました。これは、新たな外交的公約を掲げることから、既存のコミットメントを現場での具体的な行動に移すことへと焦点をシフトさせる「実行の COP」にすることを目指しています。

UNGA 81 の開催期間中、ニューヨークでは一連のハイレベルイベントが開催され、投資の原動力としてのトルコの役割の高まりが強調されました。第 19 回トルコ投資会議では大統領円卓会議が開催され、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領は米国の主要投資家と面会し、戦略的産業における潜在的なパートナーシップについて議論しました。同会議では「トルコの経済見通しと投資機会に関する円卓会議」も開催され、同国の長期的・中長期的な経済見通しと分野別の投資機会が取り上げられました。一方、「グローバル・テュルクス・ニューヨーク・フォーラム」には、世界中からトルコ人の専門家、起

業家、学者、ビジネスリーダーが集まり、交流し、アイデアを交換し、新たな機会を探求しました。グローバル・テュルクス財団が主催したこのフォーラムは、トルコと世界中のトルコ人ディアスポラとのつながりを促進し、さまざまな分野におけるトルコ人の功績と国際的な影響力を強調しました。

国内では、イルマズ副大統領が今月初めにトルコの中期プログラム（2027-2029 年）を発表し、今後 3 年間の同国の経済ロードマップを提示しました。同プログラムは、持続可能な成長と並んでディスインフレと物価の安定を優先しており、2029 年までに GDP 成長率が 5%に達すると予測されています。

テクノロジーの分野では、イスタンブールで初となる「GITEX AI トルコ」が開催され、同国での初開催を記念しました。投資・財務局が主催し、産業技術省との戦略的パートナーシップのもとで開催されたこのイベントには、70 カ国から 300 以上の出展者やスタートアップ企業が集まり、トルコをテクノロジー、イノベーション、人材、資本の成長拠点として位置づけました。

多忙なスケジュールのなか、投資・財務局は「20 年の卓越性」キャンペーンを継続し、ソウルでハイレベルレセプションを開催して、世界のビジネスコミュニティにトルコの外国直接投資（FDI）の歩みを紹介しました。

9 月には、トルコに対する国際的な関心の継続を反映するいくつかの主要な投資発表もありました。ネットフリックスは 100 億トルコリラの投資計画の完了を発表し、クリエイティブ産業におけるトルコの強まりゆく力を強調しました。

デジタルインフラ分野では、ボーダフォン・トルコと EDGNEX がイズミルに 1 億米ドルのデータセンターを建設する計画を発表し、エクイニクスはイスタンブールで 3 カ所目となるデータセンターを開設しました。

先を見据えると、COP31 の開催まであと数週間となりました。サミットに向けた準備として、当局はイスタンブール気候金融サミットの傍らで、決済エコシステム、調整された市場インフラ、イスラム金融をテーマに、気候金融に関する 3 つのハイレベルセッションを開催しました。

これらの取り組みを通じて、投資・財務局はテクノロジー、イノベーション、資本の結節点としてのトルコの地位を強調し続けました。経済の強靭さ、強力な産業基盤、そして競争力のあるインセンティブ枠組みに支えられ、トルコは人材、テクノロジー、資本が結集して長期的な価値を創造するエコシステムの構築を続けています。



A・ブラク・ダールオール　投資・財務局長



レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領、トルコ・米国ビジネスコミュニティとニューヨークで面会

レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領は、第 81 回国連総会の傍らニューヨークで開催された第 19 回トルコ投資会議の期間中、トルコ・米国のビジネスコミュニティの主要な代表者らと数回にわたり面会しました。

エルドアン大統領は、対外経済関係委員会（DEiK）のトルコ・米国が共同主催する投資会議の大統領円卓会議の議長を務めました。ビジネス・カウンシル（TAiK）および米国商工会議所の米・トルコ・ビジネス・カウンシル（USTBC）が、トルコ・ハウス（テュルケヴィ）で開催されました。円卓会議には、オメル・ボラト貿易大臣、ハカン・フィダン外務大臣、アルパルスラン・バイラクタル・エネルギー天然資源大臣、ムラト・クルム環境都市化気候変動大臣、メフメト・シムシェキ財務大臣、メフメト・ファティ・カジュル産業技術大臣、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール局長、トルコ共和国中央銀行のファティ・カラハン総裁、米国 EXIM ジョン・ヨヴァノヴィッチ総裁、駐ワシントン・トルコ大使のセダト・オナル氏、駐トルコ米国大使トーマス・J・バラック氏、DEiK のネイル・オルパク会長、DEiK/TAiK のムラト・オズイェイン会長、米国商工会議所米・トルコ・ビジネス・カウンシル（USTBC）のハムディ・ウルカヤ会長、およびフォーチュン 100 企業を代表する上級幹部が出席しました。

エルドアン大統領は、進化する世界経済の状況に注目し、地域のサプライチェーン、貿易ルート、投資フロー、復興努力、ハイテク分野を再形成すると予想される大きな変革を強調しました。大統領は、企業がサプライチェーンや投資の決定を下す際に、コスト効率だけでなく回復力や安全性をますます重視するようになる中での、トルコの競争力のある地位を強調しました。

エルドアン大統領はまた、主要な地域貿易回廊の結節点におけるトルコの戦略的地位を強調し、地域の復興プロジェクトによって創出される機会と、トルコの建設セクターの広範な能力と国際的な経験を強

調しました。大統領は、トルコの防衛産業およびハイテク産業の成長の可能性を強調し、同盟国の供給の安全性に貢献する同国の能力を強調しました。また、投資を誘致し、国際的な投資家が世界的および地域的な変革から生じる新たな機会を活用できるようにするためのトルコの取り組みを強調しました。エルドアン大統領は、トルコの投資支援エコシステムにも注目し、ビジネスコミュニティに対し、投資・財務局の米国支局と連携するよう呼びかけました。「当国の在外公館、特にワシントンとニューヨークにある投資・財務局は、いつでも皆様を支援する準備ができています」



大統領円卓会議の後、代表団はまずシティグループが主催する「トルコの経済見通しと投資機会に関する円卓会議」に出席しました。この会議には、メフメト・シムシェキ財務大臣、トルコ共和国中央銀行のファティ・カラハン総裁、DEiK のネイル・オルパク会長、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール局長、DEiK/トルコ・米国ビジネス・カウンシル（TAiK）のムラト・オズイェイン会長、シティのパブリックセクター・バンキング担当グローバルヘッドであるステファニー・フォン・フリーデブルク氏、および米国の主要投資会社の代表者らが出席しました。

議論は、トルコの長期的・中期的な経済見通し、成長目標、生産性の向上、物価の安定、そしてディスインフレ過程における財政規律の役割に焦点を当てました。

参加者はまた、トルコの強力な生産インフラ、戦略的な立地、物流の接続性に加え、先端製造業、グリーン・デジタル変革、防衛・航空宇宙、ヘルスケア、観光、物流など、高付加価値セクターにおける投資機会を強調しました。

2 日目の午前中には、米国ビジネス・ラウンドテーブル（ATBR）およびアトランティック・カウンシルとの協力のもと、フランクリン・テンプルトンが主催するエネルギー・ラウンドテーブル会議が開催されました。

この会議には、アルパルスラン・バイラクタル・エネルギー天然資源大臣、トルコ大国民議会の産業・貿易・エネルギー・天然資源・情報技術委員会のムスタファ・ヴァランク委員長、DEiK のネイル・オルパク会長、DEiK/トルコ・米国ビジネス・カウンシル（TAiK）のムラト・オズイェイン会長、および米

国のエネルギー企業の幹部らが一堂に会しました。

同日の午後、第 19 回投資会議のメインセッションには、メフメト・シムシェキ財務大臣、オメル・ボラト貿易大臣、トルコ共和国中央銀行の M・ファティ・カラハン総裁、DEiK のネイル・オルパク会長、DEiK/トルコ・米国ビジネス・カウンシル（TAiK）のムラト・オズイェイン会長、シティのパブリックセクター・バンキング担当グローバルヘッドであるステファニー・フォン・フリーデブルク氏に加え、100 名を超える機関投資家、ファンドマネージャー、米国の主要金融機関の代表者らが参加しました。参加者は、トルコの金融政策、インフレ見通し、ディスインフレ過程に関する見解を共有し、財政規律、政策の継続性、経済の回復力、生産性の向上、そして同国の投資の可能性について議論しました。

数日間にわたるプログラムは、投資コミュニティからの力強い関与をもって締めくくられ、二国間貿易額 1,000 億米ドルという共通の目標に向け、トルコと米国の経済関係を深化させ、投資パートナーシップを拡大する可能性が強調されました。

各セッションを通じて、参加者はトルコの主要な経済セクター全体で協力を強化し、投資を促進するための機会を探りました。



レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領、国連総会 2026 で世界の安定、安全保障、技術を強調

レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領は、9 月 22 日の第 81 回国連総会（UNGA）一般討論初日にニューヨークで世界の指導者らに向けて演説し、トルコの成長する防衛産業、強靭な経済、地域プロジェクトを強調するとともに、トルコが今年 11 月にアンタルヤで COP31 を主催することを発表しました。

レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領は、拡大する所得格差に注意を向け、共同開発、連帯、連結性に基づく新しいパラダイムを提案しました。大統領は、道路、貿易、エネルギーネットワーク、共同生産を通じて結ばれた社会は、最終的に平和と安定も共有することになると主張しました。この文脈において、大統領はトルコがイラクと推進している戦略的な輸送・エネルギー構想である「開発の道」プロジェクトや、最近設立されたパキスタンおよびサウジアラビアとの防衛同盟を指摘しました。

技術に関して、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領は、人間中心のアプローチと人工知能に関する共通の国際的な法的枠組みを求めました。大統領は、技術的分極化とデジタル覇権が国際システムにリスクをもたらし、害を及ぼす可能性があると警告し、国連の人工知能に関する国際条約の策定を加速するよう求めました。

トルコの成長する防衛産業の地域的な重要性に言及し、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領は次のように述べました。「成長する防衛産業と強靭な経済のおかげで、トルコは近隣の紛争の中にあっても安定の島であり続けています。欧州の不可欠な一部として、我が国は欧州大陸の福祉と安全を確保する上で重要な役割を担っています。トルコを安全保障の枠組みから排除した場合、欧州がより強く、より安全になることはあり得ません」

大統領はまた、7 月初旬にアンカラで開催された NATO 首脳会議を振り返りました。これはトルコが同盟の指導者たちを歓迎した 2 回目の機会であり、共通の安全保障に対する同国のコミットメントの具体的な証明であると述べました。東方を見据え、大統領は「アジア再発見イニシアチブ」がトルコとアジア太平洋地域との関係を深めており、ASEAN との関係が対話パートナーシップへと格上げされたことがその具体的な成果であると語りました。

気候危機に注意を向け、エルドアン大統領は、トルコが今年 11 月にアンタルヤで COP31 を主催することを想起し、オーストラリアとのパートナーシップを通じて発展させた気候正義が特に重視されていると述べました。サミットに向けた抱負を概説し、大統領は「我々は COP31 を、財政的コミットメントが果たされ、技術移転が加速され、約束が具体的なステップへと変換される『実行の COP』にすることを目指しています」と述べました。



トルコが 2027～2029 年の中期プログラムを発表

財務省が戦略予算庁と協力して作成したトルコの 2027～2029 年向け中期プログラム（MTP）が、9 月 6 日付の官報に掲載されました。

ジェヴデット・ユルマズ副大統領は、アンカラでの包括的なプレゼンテーションの中で新プログラムを紹介し、そのマクロ経済政策、目標、優先事項、ならびに公的歳入、歳出、借入の枠組みを概説しました。

2023 年以降に達成されたマクロ経済の成果を基盤とし、2027～2029 年の中期プログラムは、持続可能な成長、生産性、雇用、経済的レジリエンスを支援しつつ、ディスインフレのプロセスを継続し、恒久的な物価安定を達成することに主眼を置いています。

ユルマズ副大統領は、近年の地政学的動向が世界経済に与える影響に加え、外部需要の弱まりや商品価格の高騰により、政府は 2026 年の予測をいくつか修正せざるを得なくなったと述べました。本プログラムでは、トルコの GDP 成長率を 2026 年に 3.3 パーセント、2027 年に 4.2 パーセント、2028 年に 4.6 パーセント、2029 年に 5 パーセントと予測しています。名目 GDP は 2029 年までに 2.2 兆米ドルに達し、一人当たりの所得は約 25,000 米ドルに上昇すると予測されています。

本プログラムでは、年末のインフレ率が 2026 年に 28.4 パーセント、2027 年に 21 パーセント、2028 年に 13.5 パーセント、2029 年に 9 パーセントまで低下すると予測しています。これらのマクロ経済目標と並行して、中期プログラムはプログラム期間中に 210 万人の雇用を創出し、失業率を 8 パーセント未満に引き下げることを目指しています。ユルマズ副大統領は、これは経済成長だけでなく、労働市場改革や積極的な労働市場政策によっても支えられるだろうと述べました。

ユルマズ副大統領はまた、グリーンおよびデジタルトランスフォーメーションが、トルコの発展戦略および第 12 次開発計画の重要な構成要素であると強調しました。同氏は、グリーン経済における進展は、経常赤字の削減と国内能力の強化を通じてマクロ経済の安定に寄与し得ると同時に、トルコの長期的なカーボンニュートラル経済目標を支援するものであると指摘しました。

中期プログラムはさらに、トルコのグリーンおよびデジタルトランスフォーメーションの目標に沿って、供給の安全性を強化し、対外依存度を低減し、強力な研究開発要素を持つ投資を支援するための戦略的イニシアチブを導入しています。投資インセンティブ制度は今後ますますプロジェクト志向のアプローチを採用し、国家による支援も優先分野における国内能力を通じた重要部品の生産を対象としていきます。さらに、ブランディング、認証、および電子商取引のインフラを支援する措置は、地場産品のグローバルな輸出市場における商業化を促進するのに役立ちます。

ユルマズ副大統領はまた、トルコの経済関係は、物品貿易だけでなく、サービス、観光、金融投資、および外国直接投資（FDI）を通じて評価されるべきであると強調しました。



トルコはグリーン転換のために 30 億米ドル以上の動員を目指す

メフメト・ファティ・カジュル産業技術大臣は、9月22日に米国で開催された第81回国連総会（UNGA）のサイドラインにおける持続可能な公共調達に関するハイレベルフォーラムにおいて、トルコのグリーン転換政策、国際的な資金調達メカニズム、および人工知能への投資目標の概要を説明しました。

フォーラムで演説したカジュル大臣は、公共調達が市場の形成、イノベーションの奨励、および投資決定への影響において重要な役割を果たすことができると強調しました。同氏は、トルコが 2053 年のネットゼロ目標に沿って、産業および技術政策の重要な優先事項としてグリーン転換を位置づけており、産業部門全体での移行を支援するためにさまざまな金融商品やインセンティブを導入していると指摘しました。

これらのメカニズムにより、30 億米ドル以上の投資が動員される見込みです。並行して、世界銀行と協力して実施されている 3 つのプロジェクトは、総額 10 億米ドルの価値があり、資源効率とイノベーションを支援しています。

国際的な資金調達メカニズムも、トルコのグリーン転換の取り組みに貢献しています。欧州復興開発銀行（EBRD）、国際復興開発銀行（IBRD）、および国際金融公社（IFC）と協力して設立されたトルコ産業脱炭素化投資プラットフォームは、2030 年までに 50 億ユーロ以上の融資を提供することを目指しています。

カジュル大臣はまた、新興技術を支援するためのトルコの市場形成政策を強調し、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領が発表した国家人工知能アクションプラン（2026～2030）は、認識、活用、生産、ガバナンスという 4 つの柱を中心に構築されており、人間中心で信頼できるアプローチに従っていると述べました。

大臣は、トルコがイノベーションを促進するために公共調達を活用しており、公共投資プログラム予算の少なくとも 2 パーセントを人工知能プロジェクトに向けることを目標としていると付け加えました。このイニシアチブは、革新的なソリューションを試験的な適用から拡張可能な市場対応技術へと移行させることを加速し、グローバル市場における競争力を強化するように設計されています。

カジュル大臣はまた、トルコの拡大するクリーンエネルギー製造基盤を指摘し、同国が毎年約 8 GW の太陽光および風力発電容量を追加しており、欧州最大の太陽光パネルメーカーであり、風力タービンメ

ーカーのトップ 5 に入っていると述べました。大臣は、トルコは持続可能な産業変革を推進し、世界の取り組みを支援するために政府、国際機関、民間部門と協力することに引き続き取り組んでいると述べました。



シムシェキ大臣：トルコと米国はこれまで以上に互いが必要

メフメト・シムシェキ財務大臣は、2026 年 9 月 9 日にアンカラの米国大使館で開催されたアメリカ独立 250 周年記念レセプションに出席しました。シムシェキ大臣は挨拶の中で、地政学的な不確実性の高まり、世界経済の分断、そして根深い構造的課題の時代において、トルコと米国はこれまで以上に互いを必要としていると述べました。

米国憲法が 2 世紀以上にわたって有効であり続けていることに言及し、シムシェキ大臣は、時間をかけて築かれた重要な資産としての整合性と安定性の重要性を強調しました。二国間関係が 1830 年の通商航海条約にまで遡ることを想起し、大臣は、両国間の正式な外交に先立って貿易があったと指摘しました。大臣はまた、トルコが NATO に加盟する 2 年前の 1950 年に、トルコと米国の兵士が朝鮮半島で肩を並べて戦ったことにも言及しました。

レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領とドナルド・トランプ米大統領がアンカラでの NATO サミットの合間に行った会談に触れ、シムシェキ大臣は、両国関係は過去 10 年間いくつかの課題に直面してきたものの、両国が関係強化を模索する中で、現在は新たな勢いを見せていると述べました。

シムシェキ大臣は、トルコと米国がシリアの安定や地域の平和と安全保障を含む問題で協力していると指摘し、安全保障を超えたより広範な協力の可能性を強調しました。大臣は、両国が 1,000 億米ドルの二国間貿易目標を設定しており、貿易額はすでにこの数字の 3 分の 1 を超え、概ね均衡を保っていると述べました。目標の実現可能性について、大臣はトルコの EU および米国との貿易額の大きな違いを指摘し、地理的な近接性と関税同盟がその格差の一部を説明しているものの、すべてではないと述べました。大臣は、エネルギー、テクノロジー、防衛産業、そして強靭なサプライチェーンを、協力拡大の大きな可能性を秘めた分野として挙げました。

シムシェキ大臣は、すでに 2,400 社以上の米国企業がトルコで活動していると付け加え、ダイナミックな市場、熟練した労働力、強力な製造インフラ、そしてヨーロッパ、アジア、中東、アフリカへのアクセスに支えられ、購買力平価で世界第 11 位の経済大国であるというトルコの地位を強調しました。大臣は、トルコがマクロ経済の安定強化、予測可能性の向上、ルールに基づく枠組みの強化、そして投資家が長期的なコミットメントに対してより大きな信頼を持てるよう投資環境の改善に注力していると述べました。大臣はまた、トーマス・バラック駐アンカラ米国大使が二国間関係に新たなエネルギーと建設的な精神をもたらしたことを称賛しました。



GITEX AI トルコが世界のテクノロジーおよび投資のリーダーと共にイスタンブールで初開催

世界有数のテクノロジーおよび人工知能イベントネットワークのトルコ版初開催となる「GITEX AI トルコ」が、9 月 9 日から 10 日にかけてイスタンブール・エキスポ・センターで開催されました。
投資・財務局が主催し、産業技術省が戦略的パートナーとして協力したこのイベントには、世界中からスタートアップ企業、投資家、テクノロジー企業、政策立案者が集まりました。
70 カ国から 300 社以上の企業やスタートアップ、150 人のグローバルスピーカー、そして総額 1,000 億米ドルを超える資産を運用する 100 人以上の投資家がこの 2 日間のイベントに参加し、数千人の来場者を迎えました。
Google Cloud、HPE、NVIDIA、ASUS、Dell Technologies、Huawei、SAP などのグローバルテクノロジー企業が参加したほか、Colendi、Vispera、Saha Robotics、WASK、TechSign など、「Turcorn 100」プログラムの支援を受ける企業も自社の技術を披露しました。
イベントで登壇したメフメト・ファティ・カジュル産業技術大臣は、人工知能の分野で主要国の一角を占めるというトルコの野心について強調しました。カジュル大臣は、トルコの拡大するイノベーションエコシステムに触れ、トルコが 1,700 の研究開発センターを設立し、115 のテクノパークで 13,000 社以上の企業を支援していると述べました。



大臣はまた、公的ファンド・オブ・ファンズの仕組みがスタートアップエコシステムのために 28 億米ドルを動員したこと、また最近発表されたベンチャーキャピタルファンドへの 3 億米ドルの割り当てにより、7 億 5,000 万米ドル以上の追加資金が創出される見込みであると述べました。

一方、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール局長は基調講演の中で、トルコが地理的な架け橋から、製造、研究開発、物流、テクノロジー、起業家精神における地域のハブへと変貌を遂げたことを強調しました。

「20 年前、トルコはアジアとヨーロッパを結ぶ架け橋として認識されることが多かったのです。今日、トルコはこの地域のハブとなっています」とダールオール局長は語りました。「今後数十年にわたる我々の野望は、世界的な経済大国になることです。大陸の結節点という我々の位置に加え、トルコの才能、回復力、そして強力な投資環境は、AI が世界経済を再形成する中で、我々が競争力を維持するための強力な基盤となります」とダールオール氏は述べました。



「アイデアからインパクトへ：トルコのイノベーション経済における女性の力の解放」セッションにおいて、女性と民主主義財団（KADEM）の理事長であるスメイイェ・エルドアン・バイラクタル氏は、AI時代における女性の役割と人間中心のイノベーションについて演説しました。

投資・財務局のギョクハン・ユジェル広報部長は、GITEX AI トルコを「トルコを通じてアイデア、資本、才能、技術を結びつける新しいプラットフォーム」の始まりであると表現しました。同氏はまた、「クリエイティブ産業の再構築：AI がスタジオに入ると何が起こるのか？」と題されたパネルセッションのモデレーターを務め、AI がどのようにクリエイティブなプロセス、制作モデル、そしてクリエイティブ産業の未来を再形成しているかを探求しました。

第 1 回 GITEX AI トルコは、技術、投資、起業家精神に関する世界的な議論の中心にトルコを据え、同時に国際的なパートナーシップと投資のための新たな道を切り開きました。次回の GITEX AI トルコは、2027 年 9 月 15 日～16 日に開催される予定です。


REPUBLIC OF TÜRKİYE
MINISTRY OF INDUSTRY
AND TECHNOLOGY
#NATIONAL TECHNOLOGY INITIATIVE
INVESTMENT & FINANCE OFFICE
turcorn
Beyond the Future
TÜRKİYE TECHVISA
INVEST IN TÜRKİYE



グローバル・テュルクス・ニューヨーク・フォーラムでトルコの投資エコシステムが注目される

投資・財務局は、メタ社のニューヨーク本社で開催されたグローバル・テュルクス財団ニューヨーク・フォーラムに参加し、300 名を超えるビジネスリーダーや専門家が一堂に会しました。
メフメト・ファティ・カジュル産業技術大臣とオメル・ボラト貿易大臣が光栄にも出席されたこのフォーラムでは、「グローバル・テュルクス・パー・エクセレンス・フェーズ II」調査の開始が発表され、投資・財務局がそのスポンサーを務めました。
投資・財務局の A・ブラク・ダールオール局長はフォーラムで演説を行い、トルコの専門家がグローバルなネットワーク、機会、意思決定プラットフォームへアクセスすることの重要性を強調しました。
ダールオール局長はまた、「トルコの世紀における投資の原動力」プログラムを発表しました。これは、税制、投資プロセス、人材、国際資本、起業家精神、そしてより広範なビジネス環境を網羅するインセンティブとイニシアチブを結集させるものです。
閉会の辞の中でダールオール局長は、グローバル・テュルクス財団が、業界や地域を超えてトルコの専門家と国際的なビジネスリーダーを結ぶ架け橋となり得ると強調しました。局長はさらに、投資・財務局が世界中の主要な国際企業、投資家、ビジネス組織と連携し、財団のネットワークと組み合わせることで、トルコの専門家に具体的な機会を創出し、トルコとグローバルなビジネスコミュニティとのつながりをさらに強化できると述べました。


GLOBAL TURKS
FOUNDATION
NEW YORK
FORUM 2026
SEPTEMBER 22



投資・財務局、ソウルでの「20 年の卓越性」レセプションで 20 周年を祝う

投資・財務局は、駐ソウル・トルコ共和国大使館および世界知識フォーラム（WKF）と協力し、ソウルでハイレベルな投資レセプションを開催し、世界的な「20 年の卓越性」キャンペーンを継続しました。トルコと大韓民国の投資家、ビジネスリーダー、起業家、公務員が一堂に会したこのレセプションでは、両国間の経済的パートナーシップの拡大と、世界的な不確実性が続く中での、強靭で競争力のある投資先としてのトルコの地位が強調されました。

同日、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール局長は WKF トルコ・パネルで講演し、トルコの力強い経済パフォーマンスと投資の勢いを強調しました。局長は、トルコが 2025 年に欧州で 4 番目に投資を集めた国となったことに触れ、製造業への税制優遇措置、イスタンブール金融センターの利点、そして国際投資家に対する同局のワンストップショップ支援モデルを特徴とする、新しいインセンティブの枠組み「トルコの世紀における投資の原動力」を紹介しました。

レセプションの冒頭で、ダールオール局長は、同局の設立 20 周年はトルコの経済変革のより広範な成功を反映するものでもあると述べました。「過去 20 年間で、トルコはダイナミックな投資エコシステムを構築してきました。私たちは、新しいインセンティブパッケージの下で、韓国企業がトルコと共に成長することを歓迎します」と述べました。

駐韓トルコ大使のサリフ・ムラト・タメル氏は、両国の関係が貿易を超えて、投資、製造、技術における長期的な協力へと進化していることを強調し、両国間の強固な信頼関係が将来のパートナーシップに向けた重要な機会を生み出していると付け加えました。

韓国貿易協会（KITA）のユン・ジンシク会長は、韓・トルコ自由貿易協定の発効以来、二国間貿易が着実に成長し、過去最高の 107 億米ドルに達したことを強調し、電気自動車、バッテリー、バイオテクノロジー、先端技術を含む戦略的分野でのより深い協力を呼びかけました。

毎日経済新聞のウィ・ジョンファン CEO は、本レセプションを、投資・財務局の設立 20 周年と、2027 年に国交樹立 70 周年を迎える韓国とトルコの長年にわたる友好関係を祝う有意義な機会であると評しました。

投資・財務局は 2006 年の設立以来、国別のカスタマイズされた戦略を通じてグローバルな投資家ネットワークを拡大しており、現在では専門的なセクターチームと 14 カ国に配置された 26 人のカントリーコンサルタントを擁して活動しています。2025 年、トルコは 131 億米ドルの外国直接投資を誘致し、世界有数の投資先としての継続的な強さを証明しました。



DEiK 協議会でトルコのデジタル技術投資の可能性について議論

対外経済協力委員会（DEiK）傘下のデジタル技術ビジネス評議会は、DEiK デジタル技術ビジネス評議会のエルデム・エルクル会長の議長の下、投資・財務局の A・ブラク・ダールオール局長、DEiK のネイル・オルパク会長、DEiK のジャネル・チョラク事務総長が参加し、協議会を開催しました。

AI、データセンター、半導体、サイバーセキュリティ、次世代デジタルインフラを中心に世界の投資環境が急速に進化する中、本会議では、高付加価値投資の誘致、技術開発の促進、そしてグローバル・バリューチェーンにおけるトルコの地位強化に特に焦点を当て、トルコの投資ポテンシャルとデジタル技術における新たな機会について議論されました。

議論では、トルコのデジタル技術エコシステムを前進させ、投資の原動力としての地位をさらに強化する上で、官民の強力な協力が重要であることが強調されました。



エクイニクスがトルコで 3 拠点目となるデータセンターを開設

エクイニクスは、イスタンブールにおいて 3 拠点目となるインターナショナル・ビジネス・エクスチェンジ™（IBX）データセンター「IL3」を正式に開設し、トルコの AI 対応デジタルインフラにおける重要なマイルストーンを達成しました。このイベントには、投資・財務局のフルカン・カラヤカ副局長と、マイケル・ラリー米国総領事が、エクイニクスの顧客やパートナーと共に出席しました。

イベント中、カラヤカ副局長はトルコの投資環境に関する戦略的な見解を共有しました。高密度コンピューティングのワークロードをサポートするように設計された新設の IL3 は、エクイニクスのイスタンブールキャンパスにある既存の IL2 および IL4 データセンターと完全に統合されており、10.8 MW の容量と、重要なビジネスオペレーションのための途切れることのない接続性を提供します。

この開設は、トルコのデジタルインフラに対する国際的な投資家の信頼が高まっていることを反映しており、デジタルな未来を推進するテクノロジーの結節点としての同国の地位をさらに強化するものです。



COP31 を控え、トルコの気候ファイナンス・アジェンダについて議論

環境・都市計画・気候変動省の後援で開催されたイスタンブール気候ファイナンス・サミットには、気候ファイナンス、イスラム金融、フィンテックのエコシステム全体から主要なステークホルダーが集まりました。

COP31 に向けたトルコの準備の一環として、投資・財務局はサミットの傍らで 3 つのハイレベルセッションを開催し、気候ファイナンスとグリーン移行のさまざまな側面に取り組み、官民のステークホルダー間の対話と協力を促進しました。

「気候変動へのコミットメントをいかにして行動に移すか：決済および電子マネーのエコシステムはいかに貢献できるか」と題されたパネルディスカッションは、投資・財務局とトルコ決済・電子マネー機関協会（TÖDEB）が共同主催し、投資・財務局のフルカン・カラヤカ副局長の挨拶で始まりました。このセッションはまた、TÖDEB と欧州決済機関連盟（EPIF）との間の覚書（MoU）の署名により、国際協力における重要な一歩を記しました。

一方、「グローバルな気候ファイナンスとイスラム金融における調整された市場インフラの構築と効果的な展開」と題されたパネルディスカッションは、投資・財務局と参加銀行協会が共同主催し、気候資本の利用可能性と効果的な展開との間の拡大するギャップに取り組みました。世界のイスラム金融資産が約 6 兆米ドルに達する中、このセッションでは、国際的な流動性をプールし、リスク軽減を強化し、資本を銀行融資可能な気候プロジェクトと結びつけるための、調整された市場インフラの可能性を探りました。

第 2 回グローバル・イスラム気候ファイナンス・アライアンス（GICFA）の円卓会議が、「COP31 実施に向けたイスラム金融の動員」をテーマに開催されました。投資・財務局金融部門長のタリク・アキン博士がモデレーターを務めたこの円卓会議では、COP31 のアジェンダ、トルコの持続可能性の視点、COP31 の目標達成に対するイスラム金融の潜在的な貢献など、重要な問題が取り上げられました。


COP31 TÜRKİYE ANTALYA
INVESTMENT & FINANCE OFFICE
INVEST IN TÜRKİYE
GTCFA
TNBB
Istanbul Climate Finance Summit
September 4, 2026



トルコ・ドイツ間のエネルギー移行協力について議論

投資・財務局は、ドイツエネルギー庁（dena）およびトルコ・ドイツ・エネルギー・鉱物パートナーシップと協力し、「トルコのエネルギー移行への投資」ウェビナーを共同開催しました。
投資・財務局のカントリーアドバイザーであるファルク・クルトゥルムシュ氏がモデレーターを務めたこのセッションは、投資・財務局のベキル・ポラット副局長とドイツエネルギー庁（dena）のクリスティーナ・ハーバーカンプ代表取締役による挨拶で始まりました。両氏は、エネルギー移行を推進し、投資と協力のための新たな機会を創出する上で、トルコとドイツの継続的な協力が重要であることを強調しました。
このウェビナーでは、KfW IPEX-Bank トルコ、Nordex グループ、Enerjisa、dena の視点を結集し、再生可能エネルギーの資金調達、トルコのエネルギーセクターで事業を展開するドイツ企業の経験、そしてトルコのエネルギー移行全体における新たな投資機会について検討しました。
また、この議論では、緊密な機関間協力の価値と、再生可能エネルギー、インフラ、エネルギー効率、電力・ガス市場、グリーン水素、原材料を扱う専門のワーキンググループの重要性が強調されました。



Netflix と在トルコ米国商工会議所（AmCham）のレセプションでトルコのクリエイティブ産業が注目される

投資・財務局は、ニューヨークで開催された Netflix と在トルコ米国商工会議所（AmCham）主催のレセプションに参加し、クリエイティブ産業、ビジネス界、公共部門のリーダーが一堂に会しました。
レセプションでは、Netflix のコンテンツ担当副社長ディエゴ・アバロス氏、在トルコ米国商工会議所（AmCham）会長エムレ・カルテル氏、投資・財務局のベキル・ポラット副局長、レヴェント・ギュムリュクチュ外務副大臣による挨拶が行われました。
ポラット氏は挨拶の中で、トルコを物語の結節点として強調し、同国の創造的な才能、成長する制作エコシステム、そして地元の物語を世界中の視聴者とつなぐプラットフォームとしての Netflix の戦略的な役割を強調しました。
190カ国以上の視聴者に届く90以上のトルコ作品と、15,000人の雇用を支えるエコシステムにより、トルコはクリエイティブ産業とコンテンツ制作における世界的な強国としての地位を強化し続けています。



テキサス・トルコ・ビジネスフォーラムが二国間の投資関係を強化

投資・財務局とグレーター・ヒューストン・パートナーシップは、テキサス・トルコ・ビジネスフォーラムを成功裏に開催しました。このフォーラムには、テキサスの経営幹部、業界リーダー、エコシステムパートナーが集まり、テキサスとトルコの間の高まる二国間関係を深めました。

投資・財務局のベキル・ポラット副局長はフォーラムでプレゼンテーションを行い、トルコの強力なインフラ、高度な産業能力、高度なスキルを持つ人材プール、そして投資家をヨーロッパ、アジア、中東の主要市場につなぐ戦略的な接続性を強調しました。

本プログラムは、グレーター・ヒューストン・パートナーシップの欧州・中東・アフリカ担当シニアディレクターであるジェフリー・ブレア氏と、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるウール・オズテュルク氏による挨拶で幕を開け、二国間の通商関係強化に向けた共通のコミットメントが強調されました。在ヒューストン・トルコ総領事館のアフメト・アクンティ総領事は、両経済圏の間で拡大する戦略的ビジョンについて強調しました。

ラレンデ・ストラテジック・パートナーズの社長兼 CEO であるトゥライ・スピッカー氏がモデレーターを務めたダイナミックなパネルディスカッションでは、JSW スチール USA の CEO であるロブ・サイモン氏、イグニス H2 エナジー社から貴重な見解が示されました。テクニカルアドバイザーのサム・エイブラハム氏、GPI パワーLLC のゼネラルマネージャーであるネジャティ・エフェ・パーカー氏、ヒューレット・パッカード・エンタープライズの副社長であるマイク・クチカロフ氏が登壇しました。著名なパネリストたちは、両市場における投資経験、運営上の利点、そして新たに生まれている機会について、直接的な知見を共有しました。

フォーラムは「トルコへの投資：20 年の卓越性」レセプションをもって締めくくられ、両国のエグゼクティブ、投資家、業界リーダーが一堂に会してハイレベルなネットワーキングと対話が行われ、新たなパートナーシップの促進と二国間協力のさらなる強化が図られました。



トルコ、WindEnergy Hamburg で風力エネルギーの投資機会を披露

WindEnergy Hamburg 2026 には、約 100 カ国から 1,600 社以上の出展者と 43,000 人の業界関係者が集まり、世界の風力エネルギー産業にとって重要なプラットフォームとなりました。
トルコは同展示会に強力なプレゼンスを示し、投資・財務局が同国の成長する再生可能エネルギー投資機会を強調するとともに、国際的な投資家や業界関係者との対話を行いました。
ハイライトの一つは、トルコ風力エネルギー協会（TÜREB）および世界風力エネルギー会議（GWEC）と共同で開催された「トルコ風力エネルギー投資ロードショー」で、「2040 年の新しいエネルギーアーキテクチャ：トルコにおける風力エネルギー市場の未来と投資機会」をテーマに行われました。エネルギー天然資源省のザフェル・デミルジャン副大臣と、投資・財務局の官民パートナーシップ部門長であるアリ・カミル・オズメン氏が、TÜREB、GWEC、および民間セクターの代表者らと共に開会の挨拶を行いました。
議論は、トルコの拡大する風力エネルギー市場、国内サプライチェーン、および陸上・洋上風力発電における投資機会に焦点を当てました。
本プログラムにはハンブルク港への視察も含まれており、トルコの物流および輸送インフラへの投資機会に関する知見が提供されました。



ボーダフォン・トルコと EDGNEX、イズミルに 1 億米ドルのデータセンターを建設へ

ボーダフォン・トルコは、UAE を拠点とする DAMAC 傘下の EDGNEX データセンターと提携し、推定 1 億米ドルの投資でイズミルに高度なデータセンターを設立します。この新施設は 6 メガワットの容量を備え、ティア 3 基準で建設される予定であり、高い稼働率、冗長性、および耐障害性を確保します。この合弁事業は、ボーダフォンの現地インフラに関する専門知識と、EDGNEX のグローバルなデータセンター能力を組み合わせるもので、両社にとって重要な節目となります。EDGNEX の副会長兼取締役であるアキル・アリ氏は、イズミルの戦略的な立地と東地中海全域でのデータセンター需要の高まりを指摘し、トルコの成長する西部市場に不可欠なデジタルインフラを提供する本プロジェクトの重要性を強調しました。

ボーダフォン・トルコのエンギン・アクソイ CEO は、17 年間で 1,576 億トルコリラを超える投資を行ってきたことに触れ、トルコ経済に対する同社の長年にわたるコミットメントを強調しました。

耐震設計が施され、可能な限りグリーンエネルギー源で稼働するこのイズミルの施設は、海底ケーブルのトランジットハブに近いという立地を活かし、欧州、アフリカ、アジアへの強力な接続性を提供します。このキャリアニュートラルなセンターは、コンテンツクリエイター、卸売サービスプロバイダー、災害復旧サービスを必要とする企業など、幅広い顧客基盤にサービスを提供することが期待されており、代替の地理的ルートを模索する OTT およびハイパースケーラー事業者にとって、イズミルを地域のハブとして位置づけています。



フローレンティア・ビレッジが 2 億 5,000 万ユーロの投資でイスタンブールにオープン

国際基準で開発されたトルコ初の高級デザイナーアウトレットであるフローレンティア・ビレッジが、イスタンブールで盛大な式典を挙げてオープンしました。式典には、アブドゥルカディル・ウラールオール運輸インフラ大臣、オスマン・アシュクン・バク青年スポーツ大臣、トルコ大国民議会のムスタファ・ヴァランク産業・貿易・エネルギー・天然資源・情報・技術委員長、およびフルスィ・アカル国防委員長が、ビジネスリーダーや芸術、スポーツ、エンターテインメント界の著名人とともに参列しました。このプロジェクトは、カリヨン建設とイタリアを拠点とする RDM フィンゲン・グループのパートナーシップによるもので、2 億 5,000 万ユーロの投資を通じて実現しました。

第 1 フェーズでは 65,000 平方メートルの賃貸可能面積をカバーし、190 の店舗に加え、ガストロノミーエリアやソーシャルエリアが併設されています。イスタンブール空港からわずか 5 分の場所に位置するフローレンティア・ビレッジは、地下鉄で約 25 分でイスタンブール中心部と結ばれています。この目的地は世界の高級ブランドを一堂に集め、プレミアムアウトレットとフルプライスの小売の両方を提供しており、第 2 フェーズでは総賃貸可能面積が 110,000 平方メートルに拡大される予定です。

カリヨン・ホールディングのジェマル・カリヨンジュ会長は、フローレンティア・ビレッジを同社の「エアポート・シティ」ビジョンの礎石であると述べ、このプロジェクトが 1 億 8,000 万ユーロの国際資本をトルコにもたらしたと指摘しました。

RDM イタリアの CEO であるヤコポ・マッツェイ氏は、イスタンブールを並外れたエネルギーと可能性を秘めた世界都市と評し、このプロジェクトがフィレンツェの遺産とデザインアプローチをイスタンブールの独特な個性と融合させていると述べました。



トルコ・ウズベキスタン間の金融協力がシルクロードフォーラムで強化

「シルクロード・ファイナンス＆テクノロジー・フォーラム 2026」がタシケントで開催され、政策立案者、金融リーダー、技術革新者が一堂に会し、国境を越えた金融システム、デジタル公共インフラ、イスラムデジタル経済の未来を探求しました。

フォーラムにおいて、トルコ共和国大統領府投資・財務局金融部門長のタリク・アキン博士は、「戦略と能力 – 国家イスラム金融システムを構築するために実際に必要なこと」と題されたファイヤーサイドセッションに参加し、国家戦略の実行においては、既存の青写真をそのままコピー＆ペーストするのではなく、調整された段階的なアプローチを採用すべきであると強調しました。

フォーラムのメインプログラムの傍らで、投資・財務局はウズベキスタン共和国中央銀行とハイレベルな協議を行い、参加型金融および金融技術における戦略的協力を模索しました。

同局はまた、グローバル金融技術ネットワーク（GFTN）と連携して一連の対象を絞った二国間エンゲージメントを実施し、ウズベキスタンの主要な銀行機関、決済サービスプロバイダー、および UZCARD 決済システムを含む中核インフラ運営者と協議を行い、国境を越えた決済接続性、共有金融インフラ、および技術統合を推進しました。

今回の訪問は、トルコとウズベキスタン間の制度的絆と技術的対話を強化する道を開き、イスラム金融およびフィンテックのエコシステム全体で強靭な枠組みを構築するという共通のコミットメントを強調しました。



UAE・トルコフォーラム、物流およびインフラにおける戦略的協力を強調

「UAE・トルコ物流・インフラフォーラム」がイスタンブールで開催され、政府高官やビジネスリーダーが一堂に会し、ミドルコリドーの戦略的潜在力や、物流、サプライチェーン、輸送インフラにおける二国間協力について議論しました。

投資・財務局の官民パートナーシップ部門長であるアリ・カミル・オズメン氏が開会の挨拶を行い、主要な東西貿易ルートの交差点における中心的な接続ハブとしてのトルコを位置づけ、同国の物流能力を拡大し続ける持続的なインフラ投資によって支えられていると述べました。

トルコは物流の結節点としての地位を強化し続け、戦略的な接続性を永続的な国際パートナーシップへと転換しています。



投資・財務局、MÜSiAD EXPO 2026 で表彰

MÜSiAD EXPO 2026 の一環として開催された国際ガラディナーには、トルコ大国民議会のジェラル・アダン副議長および MÜSiAD のブルハン・オズデミル会長の参加のもと、トルコのビジネス界の著名な代表者が集まりました。式典では、イベントへの貢献を称え、支援組織やスポンサーに感謝の盾が贈呈されました。

投資・財務局を代表して、広報部長のギョクハン・ユジェル氏が記念の盾を受け取り、投資、貿易、国際協力を促進する取り組みに対する同局の継続的な支援を再確認しました。



トルコ、アスタナでの CICA 財務サミットに参加

アスタナで開催された CICA 財務サミットおよび CICA 会議の初会合には、CICA 事務局加盟国の代表者が集まり、「CICA 地域における持続可能な成長のための金融協力の強化」をテーマに、金融の接続性、開発金融、持続可能で包摂的な金融、および地域全体のデジタル金融技術について検討しました。

投資・財務局の金融投資ユニットマネージャーであるカーン・マサトチュ氏は、「持続可能で包摂的な金融開発の促進」セッションにパネリストとして参加し、民間資本およびクロスボーダー資本の動員、銀行融資可能な持続可能プロジェクトのパイプライン開発、および各国の持続可能な金融枠組みの比較可能性の強化に焦点を当てました。

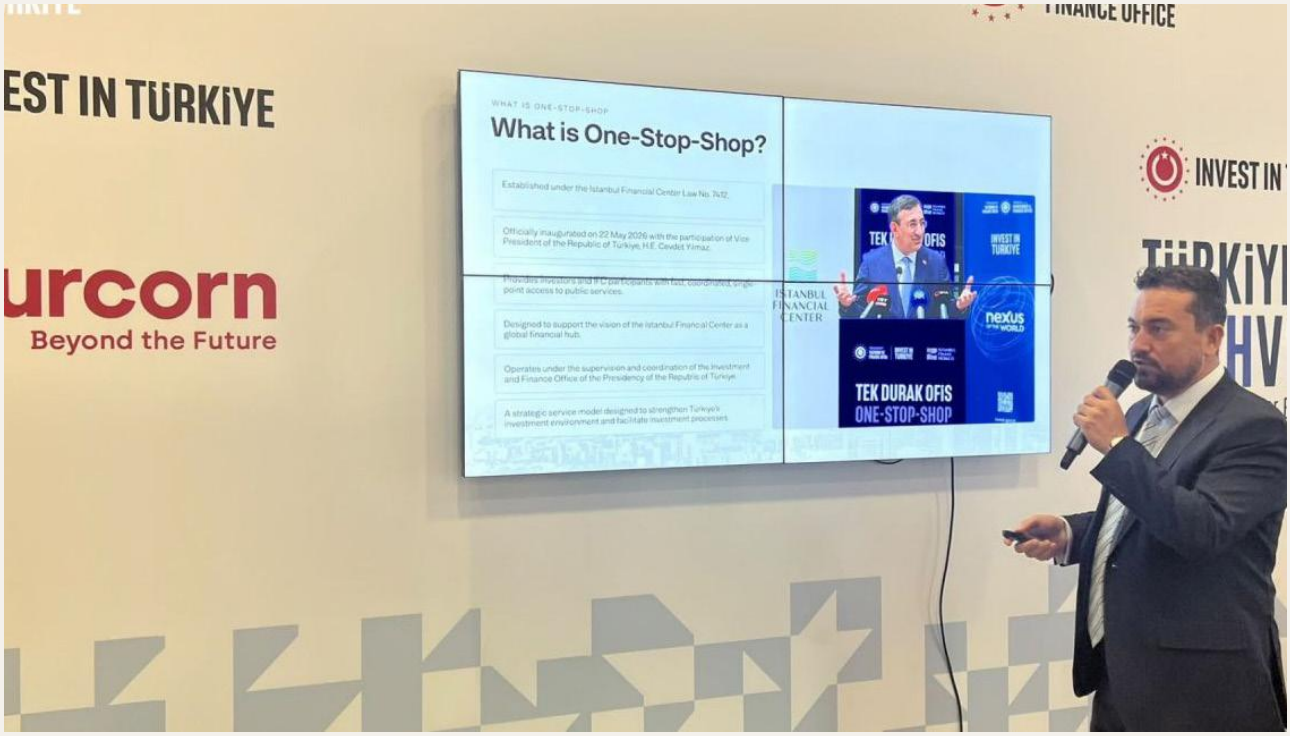
マサトチュ氏は、トルコのグリーンおよび持続可能な金融、インパクト投資、持続可能な金融枠組みの相互承認における優先事項を強調するとともに、2026 年 11 月にアンタルヤで開催される COP31 トルコに注目を集めました。

投資・財務局は、アスタナ・ファイナンス・デイズ 2026 の初日にも参加し、クロスボーダー資本、トークン化、エネルギー、人工知能、企業法に関する議論を行いました。



Money20/20 中東で紹介されたトルコのフィンテックエコシステム

投資・財務局は、業界をリードする世界的な集まりの一つである Money20/20 中東において、フィンテック専門家チームが主導する専用のロードショーを通じて、同地域の金融テクノロジーエコシステムと連携しました。
リヤドでのロードショーでは、トルコの急速に成長するフィンテックエコシステムと投資環境が幅広い地域のステークホルダーに紹介され、協力とクロスボーダーパートナーシップへの新たな道が開かれました。
この取り組みは、トルコを金融テクノロジーの結節点として位置づけ、地域の資本と専門知識を世界で最もダイナミックなフィンテック市場の一つと結びつけるという、同局の継続的な活動に貢献しました。



GITEX AI トルコでグローバル投資家にワンストップショップを紹介

新たに立ち上げられた「ワンストップショップ」は、GITEX AI トルコの傍らで、投資・財務局および産業技術省が主催するトルコ・パビリオンにて、ワンストップショップ・コーディネーターのファティ・チェリク氏による詳細なプレゼンテーションを通じて、グローバル投資家、起業家、技術愛好家に紹介されました。

チェリク氏は、ワンストップショップがどのようにして、合理化された公共サービスとイスタンブール金融センターの競争力のあるインセンティブ枠組みを「投資のためのパワーハウス」スキームの下で組み合わせ、トルコでの投資の旅を通じて国際的な投資家を支援しているかを説明しました。

この紹介では、ワンストップショップオフィスとその役割、同オフィスに代表される公共機関、それらが提供するサービスと関連するワークフロー、トルコにおける会社設立手続きの概要、そして最後に適格な IFC 参加者が利用できるインセンティブ枠組みと運営上の利点について取り上げました。



トルコ・エネルギー＆インフラストラクチャー・フォーラム、投資の優先事項とクリーンテック製造を強調

年次開催のトルコ・エネルギー＆インフラストラクチャー・フォーラムには、官民のステークホルダーが集まり、太陽光、風力、エネルギー貯蔵、送電網プロジェクトへの投資戦略に焦点を当て、トルコのエネルギーとインフラの変革について議論しました。

「実際に何が建設されるのか：トルコの太陽光発電＋蓄電における資本フロー、バンカビリティ、投資優先順位」と題されたパネルディスカッションで、投資・財務局のプロジェクトマネージャーであるオズカン・オズカルデシュ氏は、投資家にとって規制の予測可能性が極めて重要であると強調しました。同氏は、業界のステークホルダーと緊密に協議しながら将来の規制枠組みを策定・実施することが、投資家に優しい環境を育む上で不可欠であると指摘しました。

規制の明確化と送電網インフラのリスクが関連当局との緊密な連携のもとで対処されていることを強調した上で、オズカルデシュ氏は、EU の炭素国境調整措置（CBAM）による圧力に直面している重工業メーカーにとって、市場リスクを軽減するための実行可能な代替案として、蓄電統合型のコーポレート PPA（電力購入契約）を検討できると述べました。

YEKA（再生可能エネルギー資源地域）入札におけるローカルコンテンツ要件は、戦略的なクリーンテック部品の国内製造に対する強力なインセンティブとなっており、トルコをこれらの重要なエネルギー技術を世界市場へ輸出する拠点として位置づける一助となっています。



LEAP 2026 でトルコの投資機会を紹介

投資・財務局は、サービス輸出業者協会が組織したトルコ・パビリオンの専用ブースにて、同地域で最も重要な技術・投資フォーラムの一つであるリヤドでの LEAP 2026 に参加しました。
イベント期間中、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるジュネイト・サリチメン氏は、サウジアラビアおよびより広範な地域の企業、投資家、機関投資家に対し、トルコの投資環境と技術主導型セクターにおける機会についてプレゼンテーションを行いました。議論は、トルコの競争力、ビジネスフレンドリーな投資枠組み、そして同国での事業設立や拡大を目指す企業が利用できる支援に焦点を当てました。
この参加により、サウジアラビアの技術エコシステムに対する同局の関与が強化され、イノベーションとデジタルトランスフォーメーションにおけるトルコとサウジアラビアのステークホルダー間の協力に向けた新たな道が開かれました。



投資・財務局が Climate Week NYC でグリーン投資の機会を強調

投資・財務局は、ターナー・コンストラクション・カンパニーがニューヨーク本社で開催したハイレベルなエグゼクティブパネルおよびレセプション「Invest.Build.Impact.」に参加しました。Climate Week NYC の一環として、また COP31 アンタルヤ開催に向けた取り組みとして、本プログラムは在トルコ米国商工会議所（AmCham Türkiye）、ワールド・クライメート・ファウンデーション、サステナブル・ビジネス COP、およびトルコ・グリーンビルディング評議会（ÇEDBİK）とのパートナーシップのもとで開催されました。

このパネルには、政府、国際ビジネス、金融、建築環境のリーダーが集まり、気候変動への野心をどのように投資、実行可能なプロジェクト、そして測定可能なインパクトへと転換できるかについて議論しました。

ターナー・コンストラクション・カンパニーの欧州・トルコ担当国際副社長兼ゼネラルマネージャーであるメフメト・サミ・クルチ氏がモデレーターを務めたこのパネルには、ターナー・コンストラクション・カンパニーの最高サステナビリティ責任者であるジュリア・ギセワイト氏、米国グリーンビルディング評議会の会長兼 CEO であるピーター・テンプルトン氏、トルコ・グリーンビルディング評議会（ÇEDBİK）会長のエムレ・イルジャル博士、IFC のグリーン・レジリエントビル担当グローバルリードであるオミッド・サベリ氏、そしてサステナブル・ビジネス COP 議長のリカルド・ムッサ氏が登壇しました。

パネリストは、グリーンビルディング基準、混合金融、官民パートナーシップがどのようにプロジェクトをコミットメントから実現へと導くことができるか、また COP30 の教訓をどのようにアンタルヤでの実行重視のアジェンダに反映させることができるかについて議論しました。

レセプションの際、投資・財務局は参加者と、グリーン建設、持続可能な不動産、再生可能エネルギー、気候技術における機会について、また国際企業が COP31 に向けてトルコでどのように立ち位置を確立できるかについて、二国間協議を行いました。



MÜSİAD EXPO 2026 が世界のビジネスリーダーをトルコに集結させる

世界の貿易、投資、ビジネスのリーダーたちが、国際的なビジネス協力や国境を越えたパートナーシップのための地域有数のプラットフォームである MÜSİAD EXPO 2026 国際見本市のためにイスタンブールに集まりました。このイベントには世界中から数千人の参加者が集まり、新たな投資と貿易の機会を促進しました。

投資・財務局は、本イベントの支援組織として、国際的な投資、イノベーション、持続可能な経済成長の原動力としてのトルコの地位を強化し、このグローバルな出会いの場に貢献できることを誇りに思います。



フォーブス中東ヘルスケアリーダーズサミットで取り上げられたトルコのヘルスケア投資機会

投資・財務局は、フォーブス中東ヘルスケアリーダーズサミットのパネルディスカッションに参加しました。このサミットには、UAE および中東全域からヘルスケア分野のリーダー、投資家、起業家、業界代表者が集まりました。

投資・財務局のカントリーアドバイザーである A・エムレ・ビュユックルチ氏が「資本、パートナーシップ、リーダーシップ ― 能力、成長、インパクトの触媒」と題されたパネルのモデレーターを務め、エミレーツ・ホスピタルズ・グループのエグゼクティブ・チェアマンであるクリスチャン・シューマッハー氏、アルナディ・ファーマのチェアマンであるモハメド・アル・ナディ博士がパネリストとして参加しました。

この議論では、ヘルスケアエコシステム全体において、投資とイノベーションを持続可能な成長と長期的なインパクトへと変革する上で、パートナーシップと実行力が重要であることが強調されました。

トルコの確立されたヘルスケアインフラ、拡大するヘルステックおよびライフサイエンスのエコシステム、強力な医薬品・医療機器製造能力、そしてヘルスケアサービスにおける経験の蓄積も、国際的な投資やパートナーシップの機会を提供する分野として強調されました。



日本企業、トルコでの投資機会を模索

UNIDO 東京投資促進事務所（ITPO 東京）は、廃棄物管理および防災分野で事業を展開する日本企業向けにトルコプログラムを主催し、参加者にトルコのエコシステムを直接調査し、潜在的なビジネスパートナーとつながり、投資機会を評価する機会を提供しました。

投資・財務局のベルチェ・ギョカルプ氏が同行し、代表団はカフラマンマラシュ、アンカラ、イスタンブールを訪問し、ビジネスマッチングやネットワーキングイベントを通じて、TOBB、iTO、KMTSO などの主要機関と交流しました。

このプログラムは、レジリエンス（回復力）重視の分野における日本からの投資にとって、持続可能性の結節点としてのトルコの魅力を高めるものとなりました。



AIM コングレス 2026 で強調されたトルコのニアショアリングの可能性

中東を代表する投資プラットフォームである第 15 回 AIM コングレスがドバイで開催され、国家元首、閣僚、投資促進のリーダー、グローバル投資家、業界代表者など 15,800 人が参加しました。
投資・財務局のカントリーアドバイザーである A・エムレ・ビュユックルチ氏は、FDI センターと共同で開催された「より緊密な構築、より良い競争：ニアショアリングと欧州の新たな投資地図」と題したパネルディスカッションに登壇しました。このセッションでは、地政学的、経済的、技術的状況の変化の中で、企業がどのようにサプライチェーンを再考しているかについて議論されました。
セッションを通じて、トルコの多様な産業基盤、確立されたサプライヤーネットワーク、強力な製造能力、そして欧州および地域市場との接続性が強調されました。



テックサミットにて米国・トルコのディープテック協力を議論

投資・財務局は、テクノロジーおよび投資エコシステムのリーダーが一堂に会するトルコ・アメリカ・テックサミットに参加しました。
サミットの一環として、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるアリシア・ソンソン氏が、NATO イノベーションファンド（NIF）の CEO であるアリ・ヨンソン氏との「未来への資金提供」と題した対談のモデレーターを務めました。
この議論では、ディープテック投資の独特なダイナミクス、防衛およびデュアルユース・イノベーションにおけるペイシェント・キャピタル（忍耐強い資本）の重要性の高まり、そして新興技術を加速させる上での NATO イノベーションファンドと DIANA の役割について探求しました。
同セッションでは、ディープテックおよびイノベーションにおける米国とトルコの連携を強化する機会についても強調されました。

Onshore Wind Energy YEKA 2026 Auction Specifications





WHY TÜRKİYE

TÜRKİYE: HUB FOR INNOVATION AND GROWTH

Within a 4-hour flight, easy access to multiple markets of USD 32.1 trillion GDP, USD 10.3 trillion trade, and 1.3 billion people.

Booming economy reaching **USD 1,358 billion in 2024**, up from USD 238 billion in 2002.

Over **USD 288 billion** of FDI between 2003-2025, while the total amount of FDI attracted between 1980-2002 stood at USD 15 billion.

ACCESS TO MULTIPLE MARKETS

EURASIA
GDP: $2.8 trillion
Import: $467 billion
Population: 244 million

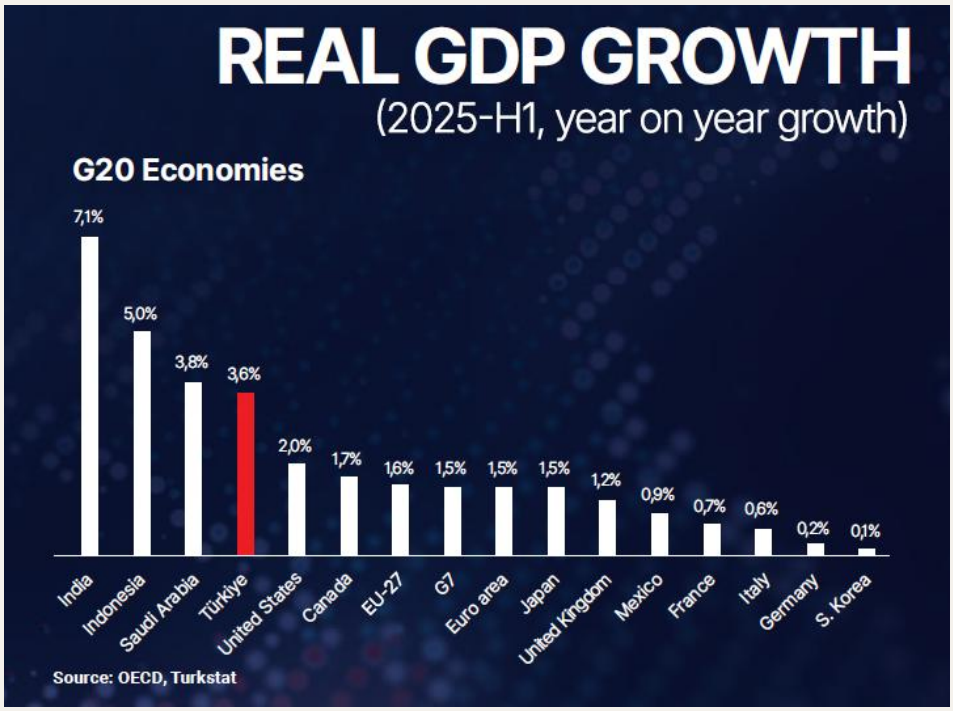
MENA
GDP: $4.4 trillion
Import: $1.5 trillion
Population: 472 million

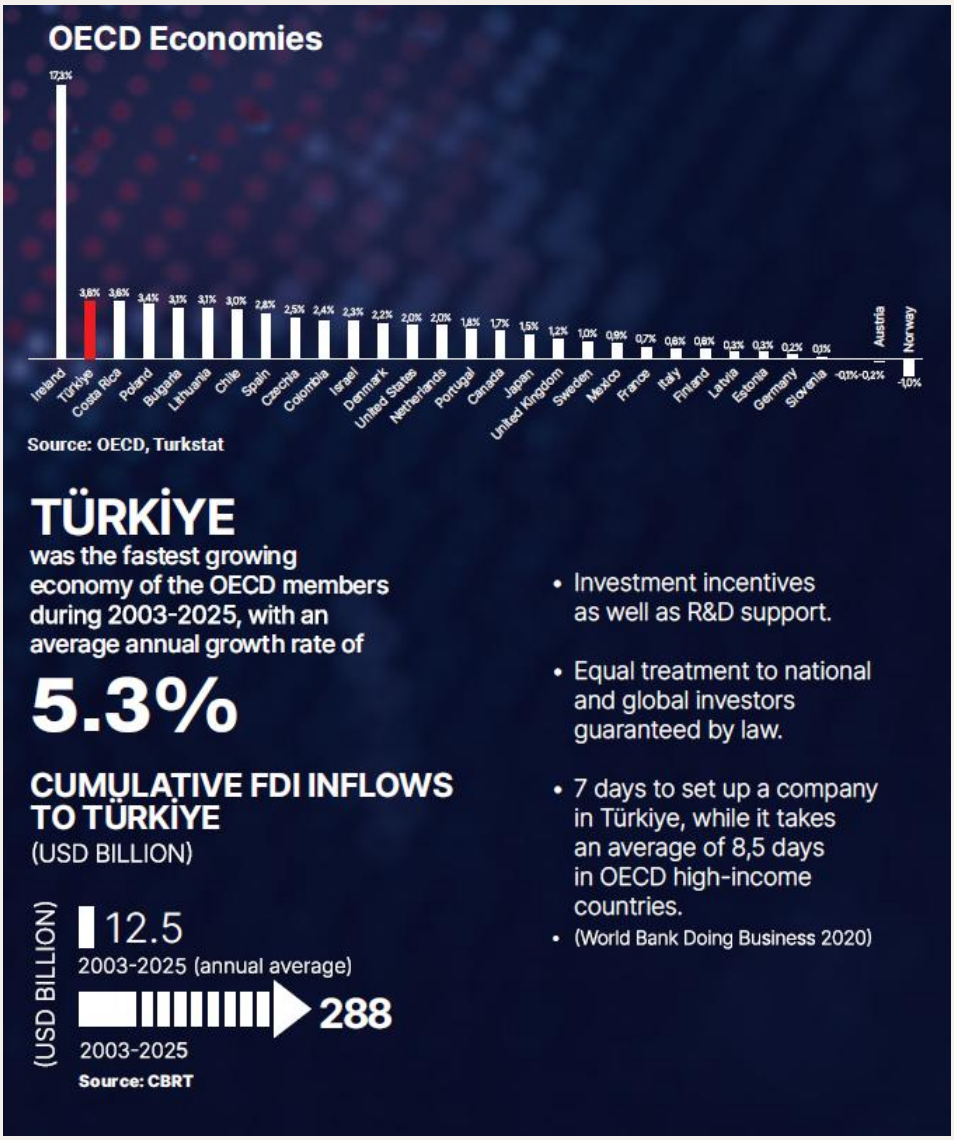
EUROPE
GDP: $24.9 trillion
Import: $8.3 trillion
Population: 595 million

TOTAL

GDP: $32.1 trillion
Import: $10.3 trillion
Population: 1.3 billion

Source: IMF, WTO, TurkStat 2024





TÜRKİYE

was the fastest growing economy of the OECD members during 2003-2025, with an average annual growth rate of

5.3%

- Investment incentives as well as R&D support.
- Equal treatment to national and global investors guaranteed by law.
- 7 days to set up a company in Türkiye, while it takes an average of 8,5 days in OECD high-income countries.
- (World Bank Doing Business 2020)

CUMULATIVE FDI INFLOWS TO TÜRKİYE

(USD BILLION)

Source: CBRT

HIGHLIGHTS

The fastest growing economy in Europe and one of the fastest growing economies in the world with an average annual GDP growth rate of 5.3% over the past 21 years.

(2003-2024, TurkStat)

SOPHISTICATED CONSUMER BASE

A population of 86.1 million, half of which is under the age of 34,9.

(2024, TurkStat)

Largest youth population compared with the EU.

(2023, Eurostat)

98.2 million fixed and mobile broadband internet subscribers.

(2024, Information and Communications Technologies Authority)

SKILLED AND DEDICATED LABOR FORCE

Around 36 million young, well-educated and motivated professionals.

(2024, Turkstat)

Around 960,000 students graduate annually from 208 universities.

(2024, CoHE)

TÜRKİYE'S INFRASTRUCTURAL DEVELOPMENT

USD 215 Billion

Total value of PPP contracts in Türkiye during the 1986-2024 period.

272

Total number of PPP projects completed in Türkiye during the 1986-2024 period.

27,797

Total number of hospital beds under PPP projects.
18 healthcare campuses have been completed with a total number of 27,797 bed capacity.

58

Number of airports in Türkiye increased from 26 in 2002 to 58 by 2024.

Who we are

Investment and Finance Office is the official organization that:

- Promotes the investment environment of Türkiye and provides assistance to investors.
- Reports directly to the President of the Republic of Türkiye.

How we help

- Multilingual (Turkish, English, German, French, Italian, Arabic, Spanish, Chinese, Japanese and Korean)
- One-Stop-Shop approach
- Result-oriented
- Private sector approach with full confidentiality
- Focusing on high-tech, value-added and employment generating investments.

What we do

• Presenting investment opportunities to the investors and providing assistance during all the stages of their investments.

• Serving as the reference point for international investors and the point of contact for all institutions engaged in promoting and attracting investments at national, regional and local levels.

• Offering free-of-charge services including market information and analyses, site selection, B2B meetings, coordination with relevant governmental institutions, and facilitating legal procedures and applications such as establishing business operations, incentive applications, obtaining licenses and work permits.

OUR GLOBAL LOCATIONS

- USA
- GERMANY
- ITALY
- SPAIN
- NETHERLANDS
- **TÜRKİYE**
- S. ARABIA
- UAE
- QATAR
- CHINA
- S. KOREA
- JAPAN
- UK
- SINGAPORE
- MALAYSIA

SECTORS

- Agrofood
- Automotive
- Chemicals
- Defense & Aerospace
- Energy
- Financial Investments & Startups
- ICT
- Infrastructure
- Life Sciences
- Machinery
- Business Services
- Financial Services
- Mining & Metals
- Real Estate
- Tourism

Explore untapped investment opportunities across a variety of industries in Türkiye.